

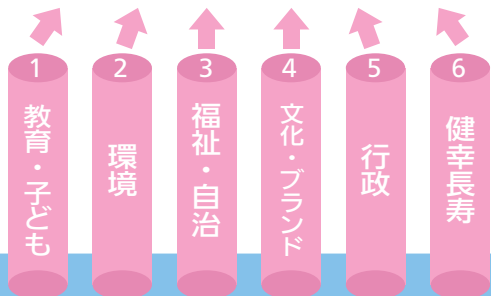
しせい 施政方針とは

市長が新年度の市の基本方針や主な施策の方向性を示すものです。毎年、市議会第1回定例会で行われます。

全文と動画は、市庁（Q 市長メッセージ）でご覧になれます。



市民の新たな幸せへ



成長作戦（まちづくり・にぎわいづくり）

- …思わず歩きたくなるステキなマチ
- …超親切的な市役所
- …文化の風 薫るマチ
- …人と人との絆を実感できるマチ
- …エネルギーの自立 マチごとエコタウン
- …日本一、子どもを大切にするマチ



特集 平成30年度 施政方針

～人と人との絆・自然との共生・人間力の発揮～

提供：(株)ヒロセ・スタジオ

図経営企画課 ☎ 2998-9027

私

が市長を志した原点は、「東日本大震災」と「原発事故」でありました。あのとき誰もが感じたあの思いを、日本人は忘れてはならない。未来の子どもたちに誇れる「善きふるさと」を継承していく。それが我々大人たちの使命である。そう確信して市政に当たってまいりました。

新たな総合計画策定を控える今だからこそ、「マチごとエコタウン所沢構想※」の精神を市の施策、事業の全てに反映させ、その具現化を徹底していきたいと考えております。そして、その精神を全ての職員が共有し、既成概念を取り払い、できない理由を探すのではなく、どうすればできるのか、発想を転換し、知恵を絞り、汗をかきながら、市民の新たな幸せの実現に向けて、心と力を合わせ取り組んでまいります。

具体的な政策につきましては、①教育・子ども②環境③福祉・自治④文化・ブランド⑤行政⑥健康長寿の6つを市政運営の柱とし、着実かつ積極果敢に進めてまいります。

※マチごとエコタウン所沢構想：マチ全体で環境に配慮した行動を実践するための構想

（平成30年所沢市議会第1回定例会 藤本正人市長の施政方針より）



1 教育・子ども



- ◆市採用教職員を増員 ◆学校トイレの改修
- ◆学校空調設備を調査 ◆児童クラブの充実

市 が独自に採用している教職員数は既に県内トップクラス（263人）ですが、さらに学力向上支援講師2人、学校司書2人、心身障害児介助員3人の合計7人を増員します。小中学校トイレの洋式化・バリアフリー化を進めます。また、暑さ対策として、空調設備の導入を調査・検討します。検討にあたっては「マチごとエコタウン所沢構想」に基づき、地球温暖化を助長せず、人間も自然に寄り添うよう努力する、所沢市にふさわしい方法を財政にも配慮して吟味します。放課後児童対策として、2つの民設民営児童クラブを新設し、生活クラブの定員を拡大します。また、並木児童クラブの建て替え工事を行います。

2 環境



- ◆新電力会社を設立 ◆里山保全地域を指定
- ◆新たな一般廃棄物最終処分場を整備

新 電力会社を設立し、原発・化石燃料に頼らない「再生可能エネルギー」による電力の普及に努めます。これにより、二酸化炭素の排出を抑え、地球温暖化対策を進めます。みどりを未来の子どもたちに継承するため、里山保全地域の指定や土地の取得（公有地化）を進めます。コスト削減や運営効率化を目的に、東西クリーンセンターの長期包括運営委託をスタートします。市内での新たな一般廃棄物最終処分場の整備を進めます。群馬県草津町や山形県米沢市に最終処分を依頼していますが、発生した地域内でごみを処理する「廃棄物の自区内処理の原則」の責務を果たします。